

タイトル	著者名	内容紹介
老害の人	内館 牧子	いずれは誰もが直面する「老後」。「最近の若い人は…」というぼやきが今や「これだから『老害』は」となってしまった時代。内館節でさらなる深部に切り込む!
栞と嘘の季節	米澤 穂信	返却本に挟まっていた栞は猛毒のトリカブトだった。持ち主を捜す中、校舎裏でトリカブトが栽培されているのを発見する。そして、教師が中毒で救急搬送されてしまった。誰が教師を殺そうとしたのか。次は誰が狙われるのか…。『本と鍵の季節』の続編。
月の立つ林で	青山美智子	似ているようでまったく違う、新しい一日を懸命に生きるあなたへ。つまずいてばかりの日常の中、耳にしたのはタケトリ・オキナという男性のポッドキャスト『ツキない話』だった。月に関する語りにも心を寄せながら、自身の想いも満ち欠けを繰り返し――。
機械仕掛けの太陽	知念実希人	現役医師として新型コロナを目の当たりにしてきた人気作家が満を持して描く、コロナ禍の医療現場のリアル。未知のウイルスとの戦いに巻き込まれ、“戦場”に身を投じた3人の物語。
レッドゾーン	夏川 草介	日進義信は内科医として長野県信濃山病院に勤めていた。院長の南郷は横浜港に停泊中のクルーズ船内の新型コロナ患者の受け入れを決めるが…。全3話収録。コロナ禍の最前線に立つ現役医師が綴る勇気の物語。「臨床の砦」続編。
祈りのカルテ 再会のセラピー	知念 実希人	諏訪野の脳裏に蘇るのは、患者たちのこと。戦場のような救急部、心の傷と向き合う形成外科、かけがえのない人との出会いと別れを経験した緩和ケア科。切なくもあたたかな記憶の扉がいま開く。